

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年4月13日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

1ページ目は、新しい情報はございません。

2ページ目上段、4月17日火曜日、(3)の審査会合についてでございます。議題といたしましては、東北電力・女川発電所2号機の審査を予定してございます。内容といたしましては、一次冷却材バウンダリの範囲、また、入力地震動について、議論が行われる予定となっております。

続きまして、2ページ目下段でございます。「3.委員の現地視察について」でございます。

こちらは既にお知らせしているところでございますが、4月19日、4月20日の2日間にわたりまして、島根3号機における検査官実務訓練及び同2号機の現地視察を山中委員ほかが行うという予定が入っております。

こちらの目的でございますが、お知らせしているところでございますが、私ども原子力規制委員会では、検査官の力量を向上するための取り組みということで検査官実務訓練、「ウオークダウン訓練」と呼んでおりますが、これを米国NRC検査官トレーナーを招聘しまして、その参加のもとで実施してきているところでございます。今回の視察は、山中委員がその訓練の状況を視察するという、また、それにあわせて、同発電所の2号機の安全対策設備について、確認、現状を視察するということを目的として行われるということでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。どうぞ。

○記者 時事通信のワタナベと申します。よろしく申し上げます。

最後に説明いただいた現地視察の関係で、ウォークダウン訓練を見に行くということでしたけれども、この訓練自体は最近始まったものなのでしょうか。ちょっと不勉強で申しわけないですが。

○大熊総務課長 一般にウォークダウン訓練全般ということで申しますと、日本国内でも、それから、IAEAの関係でIAEAが実施するものに参加をしたり、あるいは米国に行った者が参加したり、いろいろな形で実施をしておりますけれども、今回の一連のものということで申しますと、NRCの検査官トレーナーに、たしか今年の2月からと聞いていますけれども、日本に来てもらいまして、これまでに2回実施をしていると。今回が3回目ということになっております。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—